

# 中日国交断絶期の日本語習得者に関する研究

課題番号 21730651

平成 21 年度～平成 24 年度  
科学研究費補助金 若手研究(B)  
研究成果報告書

平成 25 年 3 月

研究代表者 山本 経天 (経 志江)

(日本経済大学経済学部準教授)











## はしがき

### 研究代表者

山本 経天（中京女子大学人文学部助教）

### 交付決定額

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合計
平成21年度	1,300	390	1,690
平成22年度	700	210	910
平成23年度	900	270	1,170
平成24年度	500	150	650
総計	3,400	1,020	4,420

### 研究発表

#### （1）単著論文

- ①「中日国交断絶期の日本語高等教育機関－建国初期の2校を対象として」『中京女子大学研究紀要』第44号、2010年、41-51頁。
- ②「中日国交断絶期における唯一の日本語・日本文学教授－徐祖正」『日本経大論集』第42巻、2012年、23-44頁。

#### （2）単独発表

- ①「中日国交断絶期の日本語高等教育機関－建国初期の3校を対象として」（日本教育学会第68回大会、2009年8月29日、東京大学駒場キャンパス）。
- ②「岡崎兼吉－新中国北京大学の日本語教育とともに歩んだ『老専家』」（第2回東アジア教師教育研究国際大会、2010年12月16日、香港教育学院）。

- ③ 「中日国交断絶期における唯一の日本文学教授—徐祖正」(教育史学会第 55 回大会、2011 年 10 月 2 日、京都大学文学部新館)。
- ④ 「陳信徳—中日国交断絶期北京大学の日本語教師」(第 3 回東アジア教師教育研究国際大会、2012 年 12 月 8 日、中国上海・華東師範大学)。

## 目次

はしがき

序章	1
第1部 中日国交断絶期の日本語高等教育機関	3
第1章 建国初期の3つの日本語教育機関	5
第2章 文化大革命前夜の大連日語専科学校	21
第2部 中日国交断絶期の日本語教師たち	37
第3章 戦前の日本語習得者—徐祖正	39
第4章 旧植民地出身者—陳信徳	55
第5章 日本人居留民—岡崎兼吉	71
第6章 新中国に支援した日本共産党員—大連日語専科学校の日本人教師団	87
資料集	119

